**災害時要援護者支援に係る主な取組み状況について**

資料２

（平成30年度実績：2月末時点）

**１　避難行動要支援者名簿について**

支援体制づくりにご理解頂いた地域に対して避難行動要支援者名簿の提供を進め、平成31年2月末時点で、15社会福祉連絡協議会、34福祉協会（29年度末より8社会福祉連絡協議会、20福祉協会の増）に提供した。

なお、平成30年12月1日時点の要件別対象者数については、次のとおり。



**２　福祉避難所について**

⑴　福祉避難所の指定

新たに特別養護老人ホーム2施設、児童養護施設1施設を福祉避難所に指定するとともに、教育施設などと福祉避難所指定に向けた協議を行った。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **法人名** | **施設名** | **施設種別** | **住所** |
| 社会福祉法人東香会 | はなみずき | 特別養護老人ホーム | 西難波町5丁目12番1号 |
| 社会福祉法人神戸婦人同情会 | アマリリス | 特別養護老人ホーム | 若王寺3丁目16番3号 |
| 社会福祉法人神戸婦人同情会 | 子供の家 | 児童養護施設 | 若王寺3丁目16番3号 |

⑵　福祉避難所開設運営マニュアルの作成支援等

７月に策定した福祉避難所開設・運営マニュアル作成手順書（別紙１）及び、８月31日の市防災総合訓練時に実施した福祉避難所５施設との情報伝達訓練における課題等を参考に、次の指定施設のマニュアル作成を支援した。

（作成済２施設）　特別老人養護老人ホーム西長洲荘、芦風荘

（作成中２施設）　身体障害者福祉センター、たじかの園

**３　支援関係者との連携**

平成３０年の災害を教訓に、福祉専門職と連携した要配慮者支援体制の検討を行うことを目的に、ケアマネジャー協会や障害者相談支援事業所、居宅介護事業所連絡会、特別養護老人ホームとの意見交換会を行い、福祉専門職や福祉事業者との災害時における情報共有等の課題について協議を行った。

また、福祉専門職との平時からの連携を図ることを目的に、尼崎市ケアマネジャー協会の災害対策委員会に参画した。

**４　災害時要援護者避難支援に向けた周知啓発**

⑴　地域団体等への周知啓発

尼崎市の災害時要援護者の避難支援の方針を示した「尼崎市避難行動要支援者避難支援指針」を活用し、市政出前講座や地域の集まり（平成30年度：35回）、市報、市ホームページを通じて周知啓発を行った。

⑵　防災教育の支援

若い世代が地域防災活動の担い手となるよう、高校生・大学生が当事者団体、福祉避難所指定施設と協働して取組む防災イベント等の支援を行った。

県立尼崎西高校での避難所キャンプ

|  |
| --- |
| 【県立尼崎小田高校】  「防災・減災　災害弱者・福祉避難所について地域社会で高校生に何ができるのか？」コスモシティ自治会との防災学習　ほか    防災教育 「災害と聴覚障がい者」  （ダンボールベット組立）  長洲防災フェスティバル  喜楽園との防災訓練 （ダンボールベット組立等） |
| 【県立尼崎西高校】  学校と地域が連携して築く、地域防災体制のあり方  西大島社会福祉連絡協議会との避難所キャンプ　ほか    防災講演会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 【県立尼崎工業高校】 | NPO法人スマイル広場と協働し実施した地域向け啓発    「あませつ君の放課後博物館」 における文学と防災をテーマにした 地域住民への啓発  地域住民に対する成果発表会 |
| 【関西大学　社会安全学部】  難病患者・障害児者の防災力向上プロジェクト  尼崎市難病団体連絡協議会と協働した「ぐっど・もっとカルテ」の作成等    難病連フォーラムにおける「ぐっど・もっとカルテ」の報告 | |

**５　避難行動要支援者名簿についてのアンケート調査**

避難行動要支援者名簿の活用実態を把握するとともに、今後の地域防災力の向上に資する取組を検討するため、アンケートを実施した。

アンケート結果…別紙２

以　上